

庄原市立山内小学校 第1学年 図画工作科学習指導案

題材名：ようこそ！しんぶんのくにへ

日時 平成30年11月15日(木) 2校時(9:45~10:30)
 場所 1年教室、音楽室
 学年 第1学年(男子3名、女子7名 計10名)

題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作(平成29年)第1学年及び第2学年の内容 A表現を受け、特に(1)「A 造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。」に重点をおいて設定した。この事項は、発想や構想に関する事項のうち、造形遊びをする活動を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」について示している。

この題材では、児童が新聞紙を用いて自由に造形遊びをする活動を行う。その際、児童は体全体を使って新聞紙の質感や形の変化を感じながら材料を捉え、様々な表現活動(つかむ、ちぎる、ひねる、丸める、つなげる等)を試し、造形活動で生じる感覚や気持ちを大切にしながら活動することができる。また新聞紙は児童にとって、扱いやすい材料であることから、発想や構想、技能を相互に働かせて、つくり、つくりかえ、つくることができるといった主体的に造形的な活動に向かうことができる題材である。

児童の実態について

事前の意識調査では、次のような実態が明らかとなった。調査項目は次の通りである。

(10人中)

質問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
(1) いろいろな材料で作品を作ったり遊んだりできる。	10人	0人	0人	0人
(2) いろいろな材料から自分が感じたことを基に活動を思い付くことができる。	10人	0人	0人	0人

本学級の児童は、図画工作科の学習に興味・関心が高く、授業を楽しみにしている。(2)からも分かるように、自分が感じたことを基に発想することを得意とする児童が多い。友人の活動の様子をヒントに自分の活動を思い付く児童もいる。意識調査の結果では(1)の技能に関する項目も全員が肯定的評価をしているが、思い付いたことをうまく表現できず、活動が止まってしまう児童もいる。また、「こう表したいけれど材料がないからできない。」と、表現することを諦めてしまう児童もいる。

これまで5月上旬に行った同領域の「すなやつちとなかよし」、6月に行った「カラフル粘土であそぼう」においては、体全体を使って材料と触れ合いながら、感性や想像力を働かせ、時間いっぱいダイナミックに活動することができた。一方で、材料の質感や特徴を基に表現方法を工夫するということが難しい児童もいた。

本題材で扱う新聞紙は、これまで図画工作科の材料として扱ったことはない。また、本題材の様に材料と用具を1つに限定して活動させることは初めてである。児童は就学前に、新聞紙で着るものを作ったり丸めて玉を作って遊んだりする活動を経験している。しかし、新聞紙のもつ多様な表現方法の面白さにはまだ気付いておらず、生活の中で、カップやストロー等を用いて自主的に創作活動をする児童はいるが、新聞紙のみを使って遊んだり作ったりしようとする児童は見られない。本学級の児童のほとんどは、身近な材料である新聞紙を使って多様な表現を工夫することは難しいと思われる。

指導にあたって

指導にあたって留意することは、大会テーマに沿って以下のように示す。

心動かし

児童の心を動かすために次の2つの工夫を行う。1つ目は、児童の活動意欲を高めるための工夫として、導入時に布で作ったパペット（新聞の国の女王）を登場させ、「新聞の国」へのナビゲートをさせることで楽しく活動に入らせる。また、活動場所を別室に設けることで、児童の期待感を高め、材料との素敵な出合わせ方を演出できる。2つ目は、児童が驚くほどの大量の新聞紙を準備することで、時間いっぱい思考しながら活動することができる。また、材料は新聞紙のみにすることで、中にあるカラー部分に着目して活動させたり、〇〇したいという思いに沿って操作させたりすることで工夫が生まれ、より深い思考につながると考える。

対話し

本時では、材料や友人、自分と向き合い、対話しながら活動できるようにするために3つの工夫を行う。1つ目は、新聞の様々な操作で生じる音や様子をオノマトペで示す。そうすることで、その音や様子を出すにはどんな操作をしたらよいかを思考しながら、様々な表現方法を夢中になって試せるようにする。具体的には、導入時に、新聞の国へ移動する前のパペットの話の中で、「新聞紙で遊ぶいろいろな音を聞くと元気になる」ということを伝えておき、児童の活動中の様子から色々なオノマトペを見つけて板書していく。その結果、新聞紙の質感や形の変化としっかり向き合いながら表現活動できると考える。2つ目は、新聞紙の提示の仕方である。児童が新聞紙と出会って、すぐに活動できるように、束ではなく、ばらばらにして提示をする。3つ目は、活動の時間をしっかり確保し、広い場で自由に活動させることである。そうすることで自分の感じたことを基に材料や友人と対話しながら活動でき、その中で、これまで得た技能や生活経験で得たこと等を活用しながら友人と一緒に活動することで自然と新たな表現が生まれると考える。

価値を知る

新たな表現方法を見付けることが、自信や自己の価値へとつながり、また更なる活動意欲へとつながっていくと考える。本学級の児童は友人のよさを見付け、認め合えることができるため、そういった肯定的な言葉をしっかり評価しながら活動の幅を広げていきたい。また、新聞紙で多様な表現活動をさせるために、事前に「のびのびタイム」で半紙を使って、つかむ、ちぎる、ひねる、丸める、つなげる等の基本的な技能について簡単に経験させる。それによって、児童は身近な材料である新聞紙で楽しい造形遊びができることを知り、他の身近な材料についても工夫次第で楽しい活動ができるという材料への見方の変化についても感じることができる。と考える。

題材の目標と評価規準

<題材の目標>

- (ア) 新聞紙を使っていろいろな表現方法を試しながら、活動することができる。
- (イ) 新聞紙の質感や形の変化を基に、造形的な活動を思い付くことができる。
- (ウ) 手や体全体の感覚などを働かせながら、新聞紙を使って工夫して活動することができる。
- (エ) 自分や友人の活動の様子を交流する中で、お互いの活動のよさや、新聞紙の多様な表現方法を知り、自分の見方や感じ方を広げることができる。

<評価規準>

ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
新聞紙を使っていろいろな表現方法を試しながら、楽しく活動している。	新聞紙の質感や形の変化を基に、造形的な活動を思い付いている。	手や体全体の感覚などを働かせながら新聞紙を使ってつかむ、ちぎる、ひねる、丸める、つなげる等工夫して表している。	自分や友人の活動の様子を見たり、活動のよさを話し合ったりすることで、新聞紙をちぎったりひねったり、丸めたりしてできる形の面白さに気付いている。

指導と評価の計画

(全2時間)

次	学習内容 (時数)	評				価	
		関	発	技	鑑	評価規準	評価方法
一	○ 新聞紙の質感や変化する形のオノマトペを基にイメージを膨らませて活動をする。 (1時間) 《本時1/2》	○	◎			ア 新聞紙を使って、いろいろな表現方法を試そうとしている。 イ 新聞紙の質感や様々な形を表したオノマトペを基に、つかむ、ちぎる、丸めるなどの造形的な活動を思い付いている。	行動観察 発言 作品 行動観察 発言
二	○ 新聞紙を使って、表し方などを工夫して活動した後、友人の活動の様子を鑑賞し、振り返りをする。 (1時間)			◎		ウ 手や体全体の感覚などを働かせながら新聞紙を使ってつかむ、ちぎる、ひねる、丸める、つなげる等工夫してつくったり表したりしている。 エ 自分や友人の活動の様子を見たり、活動のよさを話し合ったりすることで、新聞紙をちぎったりひねったり、丸めたりしてできる形の面白さに気付いている。	行動観察 作品 絵いっカード 発言

本時の学習

(1) 本時の目標

新聞紙の質感や様々な形を表したオノマトペを基に、造形的な活動を思い付き、いろいろな表現方法を楽しみながら試すことができる。


(2) 本時の評価規準

新聞紙の質感や様々な形を表したオノマトペを基に、造形的な活動を思い付いている。(発想や構想の能力)
 新聞紙を使って、いろいろな表現方法を試そうとしている。(関心・意欲・態度)

(3) 準備物

新聞紙、布製のパペット、セロハンテープ (1人1つ)、デジタルカメラ、印刷機

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 ◆：支援が必要な児童への手立て 発問	評価規準 〔評価方法〕
1 導入		
○ 新聞の国から来た女王 (パペット) の話を聞き、新聞の国へ移動する。	・「新聞の国の女王 (パペット)」を登場させ、話をした後、新聞の国に移動させることで、活動への意欲を喚起する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>1年生の皆さんこんにちは！わたしは新聞の国の女王です。今日は皆さんにお願いがあつて来ました。実は、私たちの国は子供たちがすっかり少なくなり、新聞で遊ぶいろいろな音や楽しく活動する声が聞こえなくなってとてもさみしい思いをしています。そこで、図工が大好きな皆さんに、ぜひ新聞の国に来てほしいのです。一緒に来てくれますか。</p> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">  </div> </div> </div>	

2 課題の設定		
<p>○ 既習事項を想起し、活動の見通しをもつ。</p> <p>○ 本時の課題を確認する。</p>	<p>・活動の流れを伝えるとともに、「のびのびタイム」でやった半紙のつかむ、ちぎる、ひねる、丸める、つなげる等の活動を想起させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> こんなにたくさんの新聞紙で、どんなことができそうかな。 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 新聞を使ってどんなことができるか、いろんな方法をためそう！ </div> <p>◆たくさんの新聞紙を前に、戸惑う児童には、わかりやすいオノマトペから提示し、どうすればその音ができるのかを一緒に思考することで、活動のイメージをもたせる。</p>	
3 活動		
<p>○ 新聞紙で思い思いに活動する。</p>	<p>・活動に変化を付けたり深めたりするために、教師も一緒になって活動し、その中で、いろいろな発想を膨らませて活動している児童等を評価する。</p> <p>・活動の様子をオノマトペに変換して板書し、他の児童の表現方法を広げる。</p> <p>・児童の活動に合わせて、セロハンテープを提示するタイミングを工夫する。</p> <p>・活動の様子を写真で記録し、振り返りの際に掲示することで、評価に生かす。</p> <p>◆新聞を使って自分のイメージに合う表現ができずに困っている児童には、周囲の児童の活動の様子を一緒に見て回り、やってみたいことのヒントにさせる。</p>	<p>新聞紙の質感や様々な形を表したオノマトペを基に、多様な活動を思い付いている。〔行動観察、発言〕</p> <p>新聞紙を使って、いろいろな表現方法を繰り返し試そうとしている。〔作品、行動観察、発言〕</p>
4 振り返り		
<p>○ 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・本時の学習を振り返る際、記録した活動の様子を見せ、気付いたことを発表させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【児童の振り返りの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初はちぎる音しか出せなかったけれど、みんなの音をヒントにいろいろなひらめきがわいてきた。 ・友達と一緒に新聞紙を変身させる方法を考えたら、いろいろ思い付いてできておもしろかった。 ・新聞紙でこんなにたくさんのことができるなんて初めて知った。 </div>	
5 まとめ		
<p>○ 次時への課題を設定する。</p>	<p>・本時の学習を価値付けながら、次時の課題を設定する。</p>	

板書計画

学習の流れ

- ① かだい
- ② かつどう
9:55~10:25
- ③ ふりかえり

か

しんぶんをつかってどんなことができるか、
いろんなほうほうをためそう！

活動の変容がわかるように作品の写真とオノマトペを掲示する。

場の設定

黒板

新聞紙を全体にまく。
束にせず新聞紙をばらしておく。